

コミュニティバス利用者支援事業の実施結果について

令和7年9月から12月までの4か月間、コミュニティバスの利用促進を目的に、運賃を半額とする「コミュニティバス利用者支援事業」を実施しました。

I. コミュニティバス利用者支援事業にかかる広報活動

- ① コミュニティバス利用者支援事業チラシを作成し、窓口への配架やLINE配信等で活用
- ② 公共交通だよりに記事掲載（9月号・12月号）
- ③ 定例記者会見にて発表
- ④ コミュニティバス利用者支援事業のチラシをラミネートし、利用者が多いバス停を中心に掲示（木津駅、木津川市役所、木津中学校前、山田川駅、南陽高校、高の原駅、梅美台西、神田、南後背、州見台八丁目北、木津川台六丁目、梅美台五丁目、五丁目南、宮ノ裏）
- ⑤ 市ホームページに掲載。
- ⑥ インスタでのフォトコンテストの企画（公共交通だより10月号掲載）
- ⑦ 市公式LINEにて事業周知（1回）

II. コミュニティバス利用者支援事業利用者数実績（当尾線除く）

	R6.9～11	R7.9～11	増減
木一1	28,402	35,828	+7,426
木一2	11,347	13,391	+2,044
木一3	23,338	30,165	+6,827
加茂デマンド路線	201	362	+161
加茂定時定路線	983	876	△107
山城線	2,892	3,473	+581
神童子線	8	0	△8

合計	67,171	84,095	+16,924
----	--------	--------	---------

III. コミュニティバス利用者支援事業の事業効果

○コミュニティバス利用者支援事業の実施により、実施期間中のコミュニティバス利用者数が増加した。(R6.9~11月利用者：67,171人、R7.9~11月利用者：84,095人)

○期間中（※データを集計できていない12月を除く）の利用者数は、前年度同期間と比較して、コミバス全体で約25%の増加となった。

○実施前に比べて、バス停でバス待ちをしている方が増えた。

○アンケート結果を踏まえると、これまでの利用者が約9割となっており、その中で約4割は利用回数が増加していることがわかる。また、約1割の方が値下げをきっかけに利用し始めたと回答した。

○年齢別では、60~64歳を除き、3割以上が値下げにより利用回数が増えた、または値下げをきっかけに利用し始めたと回答した。